

2005年度も循環器科としては、庄野弘幸と済生会熊本病院心臓血管センターからの出向医師の2名体制であった。二人で受け持ちをした入院患者は499名、うち循環器疾患が200例であった。

主な疾患の内訳は、心不全53例、不整脈45例、急性心筋梗塞28例、狭心症20例、急性大動脈解離7例、その他の血管疾患9例、弁膜症10例（心筋梗塞と大動脈解離には救急外来対応例も含む）であった。

急性心筋梗塞	28
狭心症	20
急性大動脈解離	7
その他の血管疾患	9
心不全	53
不整脈	45
弁膜症	10

今年度は、熊本病院からの応援をもらって10例ペースメーカーの植え込み（交換を含む）を行った。循環器系の主な検査は表に示す。

心エコー	1,936
負荷エコー	204
トレッドミル	168
ホルター	236
頸部血管エコー	353
下肢血管エコー	366
ABI	269
心臓 CT	79
血管 CT、MRI	129

精査・加療目的で済生会熊本病院に紹介入院となった症例は138例であった。内訳は手術症例22例、カテーテル治療29例、急性心筋梗塞17例、不安定狭心症9例、急性大動脈解離4例、心不全9例、不整脈9例などであった。